

長岡市長記者会見要旨

日 時：令和3年4月5日（月）午後1時30分から

会 場：アオーレ長岡東棟4階 大会議室

【会見項目：円滑な接種に向け市内医療機関と連携
新型コロナウイルスワクチン接種方針を決定】

（市長）

長岡市における新型コロナウイルスワクチンの接種方針について説明します。この方針は、長岡市医師会や市内基幹病院の関係者の皆様と協議を重ねて決定しました。接種実施においても医療関係者の皆様としっかり連携して進めてまいります。

接種方針の概要について説明します。

まず、国の方針に基づき高齢者の接種から開始します。ワクチンの供給量が極めて限定的であるということから、高齢者施設入所者および施設職員を優先して接種を行います。

4月12日から、市内の介護老人保健施設3カ所に絞って接種を行います。

5月以降、ワクチンの供給量を見ながら、その他の高齢者施設に順次拡大します。

6月以降、施設入所者以外の高齢者の接種を行います。完全予約制で、個別接種と集団接種を併用して実施します。予約受付の開始は5月中旬からを予定しており、詳細が決まり次第、市政だよりや市ホームページなどでお知らせします。

次に、高齢者以外の市民への接種を9月から2月に実施します。ただし、高齢者の接種状況やワクチンの供給状況により、接種時期が前後する可能性もあると考えています。

接種券などの配布スケジュールについて説明します。高齢者には4月7日から順次発送し、同月中旬頃に配布を完了する予定です。高齢者以外の市民へは、6月以降に発送する予定です。

その他の情報について説明します。

一つ目は、市民相談窓口です。長岡市新型コロナウイルスワクチンコールセンターを3月25日に開設しており、これまで約40件の問い合わせを受け付けています。今後、集団接種の予約についてもコールセンターで受け付ける予定です。問い合わせは、個々の医療機関等ではなく、コールセンターにお電話いただきますようお願いいたします。

二つ目は、これから接種に携わる医療関係者の皆様への説明会です。4月17日午後3時から

長岡リリックホールで開催します。3月まで長岡中央総合病院に勤務されていた太田こどもクリニックの太田医師から、ワクチン接種に係る留意点等をお話いただくほか、市から接種体制について説明を行います。

ワクチン接種については、不透明な部分も多い状況ですが、長岡市民の皆様の期待や関心も高いと考えています。接種が円滑に進むよう、全力を挙げて取り組んでまいります。

(記者)

ワクチンの供給について、現時点で分かっている範囲の供給時期と供給量を教えてください。

(市長)

現在判明している長岡市へのワクチン供給は、4月5日の週に500回分、4月19日の週に475回分、4月26日の週に975回分です。5月以降は未定です。

(記者)

4月5日と19日の週の供給分が、初めに接種を行う高齢者施設3カ所480人の2回分で、26日の週に供給される975回分は、5月以降に使われる予定ですか。

(新型コロナウイルスワクチン接種事業担当部長)

はい。なお、4月26日の週には、県から県内30の全市町村に1箱975回分が配布される予定になっており、そのうちの1箱が長岡市に配布されます。

(記者)

初めに接種を行う高齢者施設3カ所480人について、各施設の接種を受ける高齢者数と施設職員数の内訳を教えてください。

(新型コロナウイルスワクチン接種事業担当部長)

内訳の詳細は、現在集計中ですが、3施設均等に160人分を配布して接種いただきたいと考えています。

(記者)

各施設の全ての高齢者と施設職員が接種を受けられるのではないということですか。

(新型コロナウイルスワクチン接種事業担当部長)

接種の意向を聞いて行いますので、全員が接種を受けるところもあれば、そうでないところもあります。

(記者)

個別接種と集団接種は、接種を受ける人が選べるのですか。

(新型コロナウイルスワクチン接種事業担当部長)

接種を受ける市民の皆様から選んでいただきます。

(記者)

9月上旬から基礎疾患のある人の接種が予定されていますが、基礎疾患の有無をどのように判断するのですか。

(新型コロナウイルスワクチン接種事業担当部長)

本人の申請により判断します。

(記者)

初めに接種を行う高齢者施設3カ所の選定をどのように行いましたか。また、5月以降、高齢者施設における接種を順次拡大していく中で、優先順位などはありますか。

(新型コロナウイルスワクチン接種事業担当部長)

初めに接種を行う3施設については、同一敷地内に併設された病院があり、かつ医療従事者が確保できること、入所定員の規模が妥当な施設を選定させていただきました。

5月以降については、ワクチンの供給量を踏まえて、判断していきたいと考えています。

(記者)

ワクチンの接種人数をどのように計算していますか。

(市長)

ワクチン接種は任意です。このため、対象者数に接種率を掛けて算出しています。接種率については、独立行政法人経済産業研究所が、65歳以上で約8割、16歳から64歳までで約7割と予測しており、それを援用しています。

ただし、市としては、より多くの人から接種していただけるようPRしていきたいと考えています。

【その他の項目】

(記者)

新潟市をはじめ、県内で感染が拡大していますが、長岡市内における感染状況に対する認識と市民への呼び掛けについて教えてください。

(市長)

これまで市内の感染者は50人規模でしたが、3月以降で100人以上となり急増しています。感染が確認された場面は、飲食店や学校、地域コミュニティ関係などさまざまです。首都圏や関西など、緊急事態宣言が出ていた地域との往来が原因ではないかと考えていますが、解明はできていません。

現時点では、危機的な状況とまでは考えていませんが、今後の感染拡大防止のためには、今

までとは違うレベルで対応していく必要があると思います。まずは、ワクチンの接種をスムーズに行うことが、市内における感染拡大防止のために一番大切なことだと思っています。

市民の皆様には、いま一度、マスク着用、手洗い、あまり多くの人との会食はしないなど、基本的な感染対策について注意喚起していきたいと考えています。

(記者)

バスケットボールBリーグの新潟アルビレックスBBの社長によるパワハラ行為について、ホームタウンの市長としてのご意見をお聞かせください。

(市長)

新潟アルビレックスBBだけの問題というより、リーグ全体や日本のスポーツ界全体の体質が、問われていると思いました。チームを強くするために指導者がパワハラの的なことをやることは、仕方がないという雰囲気、日本全体にあると感じています。

それを無くさなければ、スポーツが持っている夢や希望といった良い面が損なわれて価値がなくなります。仕方がないという雰囲気を本当に払拭してほしいと思います。

(記者)

報道発表前に、チームから市長に報告はありましたか。

(市長)

ありません。

(記者)

市からチームに申し入れをする予定はありますか。

(市長)

この件に関するチームなどの処分が決まってから機会をみて、長岡市民の思いを伝えたいと考えています。

(記者)

ワクチン接種の効果が出る前に、長岡市で聖火リレーが行われることになるかと思いますが、実施にあたり三密を避けるなど長岡市の感染対策を教えてください。

(市長)

県内や市内をはじめ、日本全体の感染状況がどうなっているかが問題だと思いますが、普通に考えて、密にならないければ心配することはないと思っています。例えば、終点の陸上競技場やスタート地点のアオーレ長岡で多くの人に来て密にならないようにするなど、対策を考えれば実施できると考えています。

(記者)

聖火リレー時の感染対策は、基本的に当該自治体に任されているのですか。

(地方創生推進部長)

全体の警備予算などは、県の実行委員会にありますので、長岡市としては感染対策を完璧にしたいと伝えており、現在、県と長岡市の実行委員会で協議しています。

(記者)

聖火リレーに関する費用で市が負担するものはありますか。

(地方創生推進部長)

長岡市でのスタートイベントの経費は、市が負担することになっています。聖火リレー全体としては、県と市町村が折半で負担します。

(記者)

河井継之助記念館の館長が決まっていない状況が続いていますが、市長の考えをお聞かせください。

(市長)

現在、検討中です。相応しい人がいればお願いしたいと思っています。

(記者)

市長は、館長にはどのような人が相応しいと考えていますか。

(市長)

河井継之助記念館は、歴史観や人物観だけではなく、今生きている若い人たちや市民の皆さんに、何を伝えるかということテーマとして作られました。これを意識した未来志向の人に館長になっていただきたいと思っています。